

浸水継続時間

1

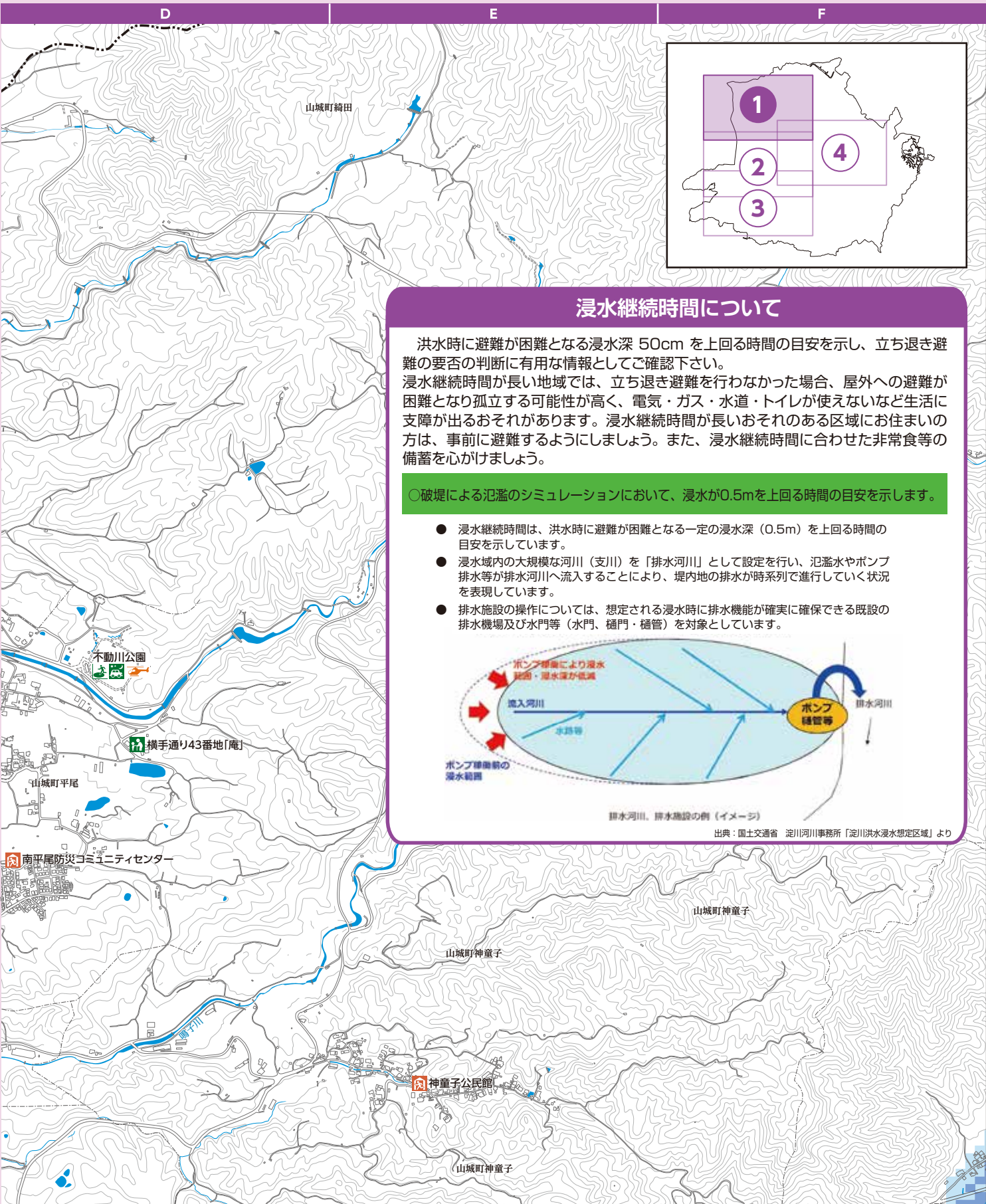
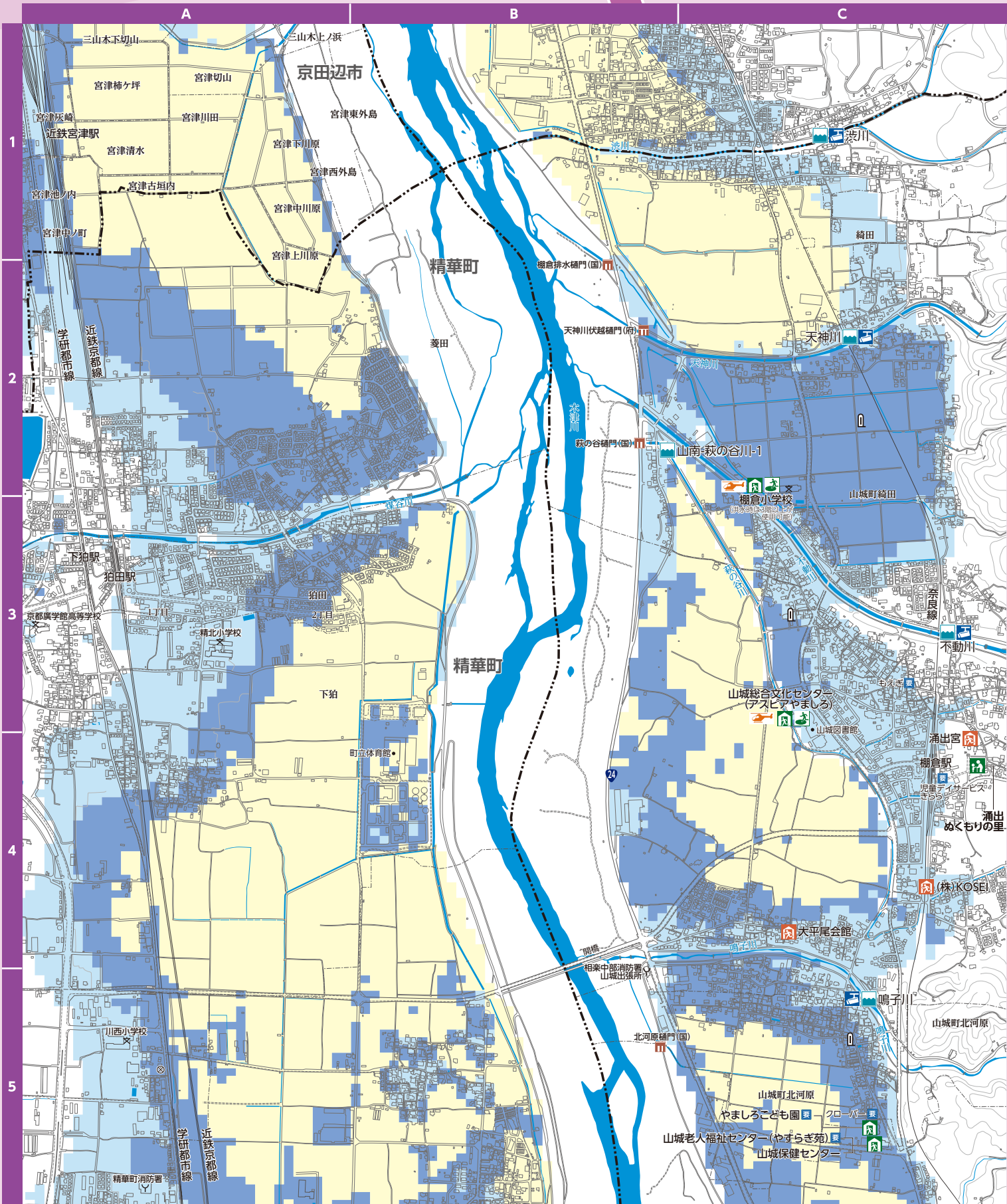
0 250 500m

1/15,000



凡例		指定緊急避難場所		地域避難所		浸水の恐れがあるアンダーパス
		指定避難所		ヘリ発着可能箇所		水位観測所
		車中(泊)避難場所		公立病院		CCTVカメラ
		福祉避難所		警戒すべき区域内の要配慮者関連施設		雨量観測所
				樋門		自然災害伝承碑

浸水継続時間		～12時間未満
		～24時間未満
		～3日未満
		～7日未満

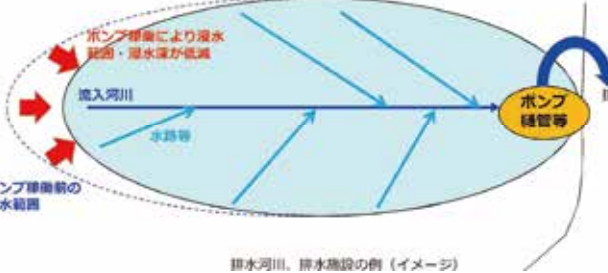


浸水継続時間について

洪水時に避難が困難となる浸水深 50cm を上回る時間の目安を示し、立ち退き避難の可否の判断に有用な情報としてご確認ください。
浸水継続時間が長い地域では、立ち退き避難を行わなかった場合、屋外への避難が困難となり孤立する可能性が高く、電気・ガス・水道・トイレが使えないなど生活に支障が出るおそれがあります。浸水継続時間が長いおそれのある区域にお住まいの方は、事前に避難するようにしましょう。また、浸水継続時間に合わせた非常食等の備蓄を心がけましょう。

○破堤による氾濫のシミュレーションにおいて、浸水が0.5mを上回る時間の目安を示します。

- 浸水継続時間は、洪水時に避難が困難となる一定の浸水深（0.5m）を上回る時間の目安を示しています。
- 浸水域内の大規模な河川（支川）を「排水河川」として設定を行い、氾濫水やポンプ排水等が排水河川へ流入することにより、堤内地の排水が時系列で進行していく状況を表現しています。
- 排水施設の操作については、想定される浸水時に排水機能が確実に確保できる既設の排水機及び水門等（水門、樋門、樋管）を対象としています。



出典：国土交通省 淀川河川事務所「淀川洪水浸水想定区域」より